



ぐんぐん広場

令和8年1月6日(火)
北小学校 学力向上推進だより

新年あけましておめでとうございます。いよいよ学年の締めくくりとなる3学期が始まりました。3学期は登校日数が少なく、あっという間に過ぎ去るイメージがありますが、学習面では「既習事項の定着」と「苦手克服」のラストチャンスでもあります。子どもたちが自信を持って次の学年へ進めるよう、学校と家庭で歩調を合わせて支援していきましょう。

1月の重点：「学習リズムの再構築」と「1年間の振り返り」



1 「学びのスイッチ」をオンにする3つの習慣

冬休み中のリラックスしたモードから、スムーズに学校生活へ戻るために、ご家庭で以下の3点をご確認ください。

(1) 「早寝・早起き・朝ごはん」の再徹底

脳が活発に動くためには、十分な睡眠と栄養が不可欠です。生活リズムの乱れは集中力の低下に直結します。

(2) 机に向かう時間を決める

「宿題があるからやる」のではなく、「18時になったら机に座る」といった時間の固定化が、自学自習の習慣を作ります。

(3) 持ち物の自己管理

筆箱の中身（鉛筆が削ってあるか等）や教科書の準備を自分で行うことは、学習への心の準備（構え）につながります。



2 この時期に大切にしたい「家庭での学習支援」

今の時期、保護者の方にぜひ意識していただきたいポイントをまとめました。

(1) 「解き直し」が最高の予習になる

新しい問題集を買うよりも、「一度間違えた問題をもう一度解く」ことが、今の時期は最も効果的です。テストやドリルで見つかった「穴」を埋めることができ、次の学年の学習をスムーズにします。

(2) 肯定的な声かけ(セルフエフィカシーの向上)

「また間違ってる」ではなく、「前はここで止まってたけど、ここまで進めるようになったね」と、小さな成長を具体的に認めてあげてください。「自分はやればできる」という自己肯定感が、学習意欲を支えます。

(3) 読解力の土台を育てる

寒い日は、暖かい室内で一緒に読書をするのも良いですね。新聞やニュースについて親子で「どう思う?」と会話することも、思考力や表現力を養う立派な学習支援です。

3学期は「1月往ぬる、2月逃げる、3月去る」と言われるほど短く感じられるものです。一日一日の授業を大切にし、子どもたちが「分かった!」「できた!」という実感を一つでも多く持って進級・進学できるよう、教職員一同全力で取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、温かな励ましをお願いいたします。